

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	がん化学療法に対する制吐薬としてのオランザピンの使用実態調査
	研究目的	オランザピンの適正使用に向けた周知を行うため、全国規模の実態調査を実施する。
	研究対象者	平成 30 年 6 月 1 日から 9 月 30 日に高度あるいは中等度催吐性リスクの抗がん薬治療が開始されオランザピンが使用された患者さん
	研究期間	西 暦 2019 年 3 月 6 日 ~ 西 暦 2019 年 6 月 30 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	原田知彦
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	薬剤科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	福岡大学薬学部臨床薬学教室 林 稔展